

(資料3)

給食アンケート調査 結果報告書

令和8年2月
松阪市教育委員会 給食管理課

はじめに

前回の令和元年度から7年ぶりに幼稚園12園、小学校36校、中学校11校の保護者ならびに小中学校児童生徒を対象として、学校給食アンケートを実施しました。

近年の物価高騰の影響により、多くの給食食材の価格が上昇し、米の価格については、昨年度と比較して約2倍になるなど、学校給食を取り巻く環境は厳しくなっています。

令和5年度から市の施策として給食費の物価上昇相当分（5%）の支援を実施、令和7年度には給食費の物価上昇相当分として20%の支援を行うなど、急激な物価高騰は食材調達に大きな影響を及ぼしている状況です。

このように学校給食をとりまく情勢が大きく変化する中、現在の学校給食に対する保護者や児童生徒の意見等を把握し、今後の給食運営の参考としたいと考えています。

本アンケートでは、保護者の皆さまには、「給食の内容」「食品ロス」「給食費」について、児童生徒には「給食の内容」「喫食の状況」「食品ロス」について回答いただいています。

この結果を踏まえ、今後の給食運営および食育のさらなる推進に生かしていきたいと考えています。

回答数（幼小中別）

	保護者	児童生徒
幼稚園	231人	
小学校	2,798人	5,694人
中学校	1,712人	2,641人
計	4,741人	8,335人

送付・回収方法

12月上旬に給食管理課から各幼小中学校へ、二次元コードまたは用紙を配布。
児童生徒は、タブレットで回答。

調査期間

令和7年12月12日（金）～26日（金）

アンケートの結果（保護者用）

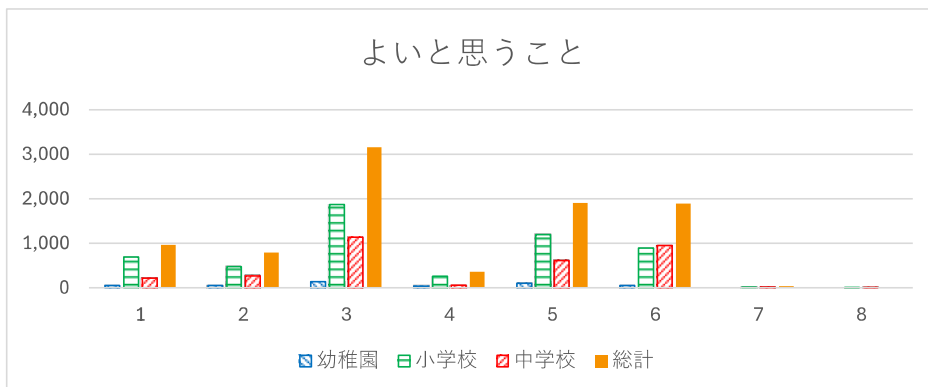
【質問１】現在の学校給食についてどの程度満足していますか。

	単位：人									
	大変満足		満足		普通		やや不満		不満	
幼稚園	80	34.6%	93	40.3%	46	19.9%	11	4.8%	1	0.4%
小学校	613	21.9%	1,238	44.2%	729	26.1%	176	6.3%	42	1.5%
中学校	229	13.4%	632	36.9%	534	31.2%	238	13.9%	79	4.6%
総計	922		1,963		1,309		425		122	

「大変満足、満足」と回答した人は、全体の60.9%だった。
幼稚園は74.9%、小学校は66.1%、中学校は50.3%と年齢によるばらつきはあるが、概ね満足との回答があった。

【質問２】給食についてよいと思うことは何ですか。2つまで選んでください。

単位：人									
	子どもが おいしそうに 食べている ①	毎日 違うものが 食べられる ②	栄養の バランスに 配慮されて いる ③	すききらいを なくす 「きかけ」 になる ④	家庭では 出さない献立や食材を 食べることができる ⑤	お弁当を準備 しなくてよい ⑥	特になし ⑦	その他 ⑧	
幼稚園	57 12.7%	54 12.0%	143 31.8%	41 9.1%	103 22.9%	52 11.6%	0 0.0%	0 0.0%	
小学校	694 12.8%	472 8.7%	1,877 34.7%	259 4.8%	1,197 22.1%	893 16.5%	17 0.3%	6 0.1%	
中学校	217 6.6%	269 8.2%	1,134 34.7%	60 1.8%	608 18.6%	948 29.0%	18 0.6%	12 0.4%	
総計	968	795	3,154	360	1,908	1,893	35	18	

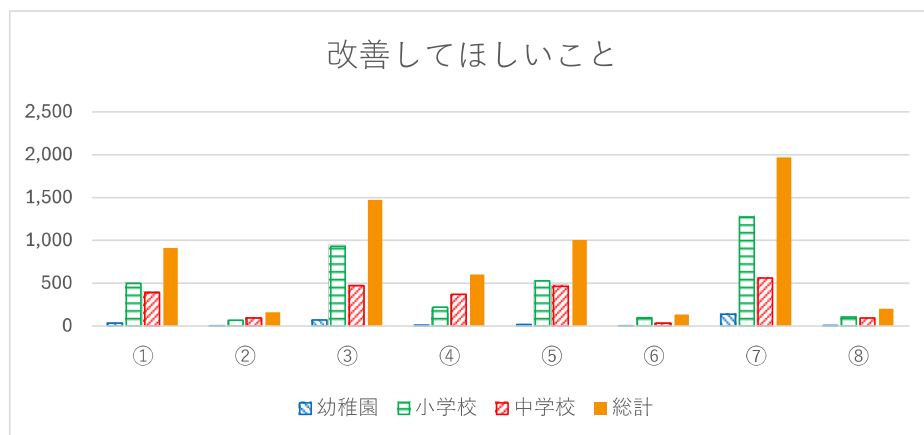


幼小中とも「栄養のバランスに配慮されている」が最も多く全体の34.5%になった。幼稚園では、続いて「家庭ではださない献立や食材を食べることができる」が多かったが、小中学校では「お弁当を準備しなくてよい」が多かった。
自由記述では、「みんなと一緒に食べられて楽しい」「きちんと出汁をとって丁寧に作ってもらっているところ」などが挙げられており、改善してほしいことは「品数や種類が減った」「冷めている」などの回答があった。

幼稚園では、食経験を積み始めた年齢の子どもが対象とあって、保護者の意見も食経験を多く積めることに対する評価が多くなったものと考えられる。

【質問3】給食について改善してほしいことは何ですか。2つまで選んでください。

単位：人								
	量が 足りない ①	量が多い ②	果物や デザートが 足りない ③	味が こどもの 好みに あわない ④	食べる 時間が 足りない ⑤	給食の 回数が 足りない ⑥	特になし ⑦	その他 ⑧
幼稚園	31 11.4%	1 0.4%	70 25.8%	10 3.7%	15 5.5%	1 0.4%	136 50.2%	7 2.6%
小学校	493 13.3%	66 1.8%	930 25.0%	222 6.0%	526 14.2%	99 2.7%	1,273 34.3%	104 2.8%
中学校	388 15.7%	93 3.8%	469 19.0%	370 15.0%	463 18.8%	33 1.3%	559 22.7%	90 3.7%
総計	912	160	1,469	602	1,004	133	1,968	201



幼小中とも「特になし」が最も多く、その次に「果物やデザートが足りない」が多かった。また、小中学校では、量や食べる時間についての改善を希望する回答が多かった。自由記述については、特に献立についての意見が多かった。給食の根幹ともいえる栄養バランスの整った献立については、一定の評価を得ることができたと認識している。

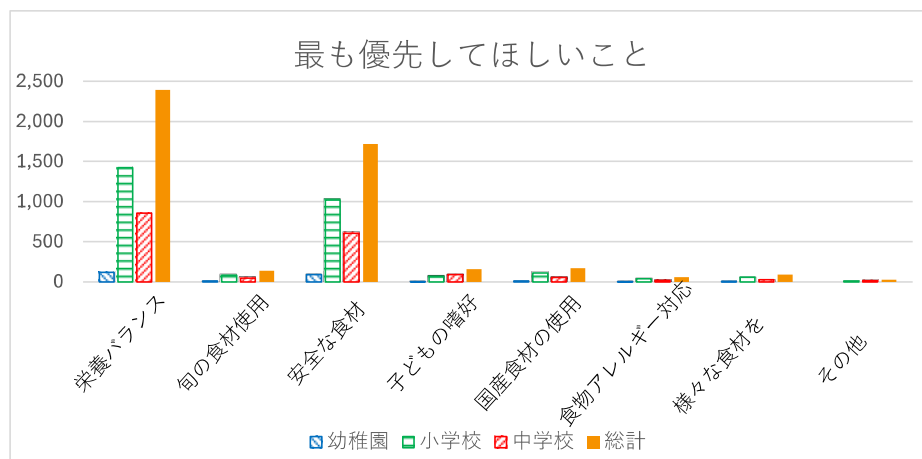
物価高騰の影響から果物やデザートが少なくなっていることや品数、種類も同様に減っていると感じている方が多いことがわかった。

【質問4】給食の献立で優先してほしいことは何ですか。3つまで選んでください。

単位：人								
	栄養 バランス	旬の 食材使用	安全な食材	子どもの 嗜好	国産食材の 使用	食物 アレルギー対応	様々な 食材を 使った 料理の提供	その他
幼稚園	212:32.9%	98:15.2%	177:27.5%	34:5.3%	66:10.2%	9:1.4%	47:7.3%	1:0.2%
小学校	2,557:33.0%	1,122:14.5%	2,090:27.0%	353:4.6%	727:9.4%	212:2.7%	669:8.6%	22:0.3%
中学校	1,531:32.5%	625:13.3%	1,274:27.0%	319:6.8%	420:8.9%	129:2.7%	387:8.2%	28:0.6%
総計	4,300	1,845	3,541	706	1,213	350	1,103	51

【質問5】質問4で選んだ3つの中で、最も優先したいことを1つ選んでください。

単位：人								
	栄養 バランス	旬の 食材使用	安全な食材	子どもの 嗜好	国産食材の 使用	食物 アレルギー対応	様々な 食材を 使った 料理の提供	その他
幼稚園	117:50.2%	7:3.0%	91:39.1%	3:2.6%	9:8.3%	2:11.1%	4:26.7%	0:0.0%
小学校	1,422:50.8%	82:2.9%	1,020:36.4%	65:4.7%	109:8.4%	36:13.0%	58:27.4%	9:8.7%
中学校	857:49.9%	47:2.7%	606:35.3%	90:10.5%	54:6.7%	19:9.2%	26:22.4%	17:27.4%
総計	2,396	136	1,717	158	172	57	88	26

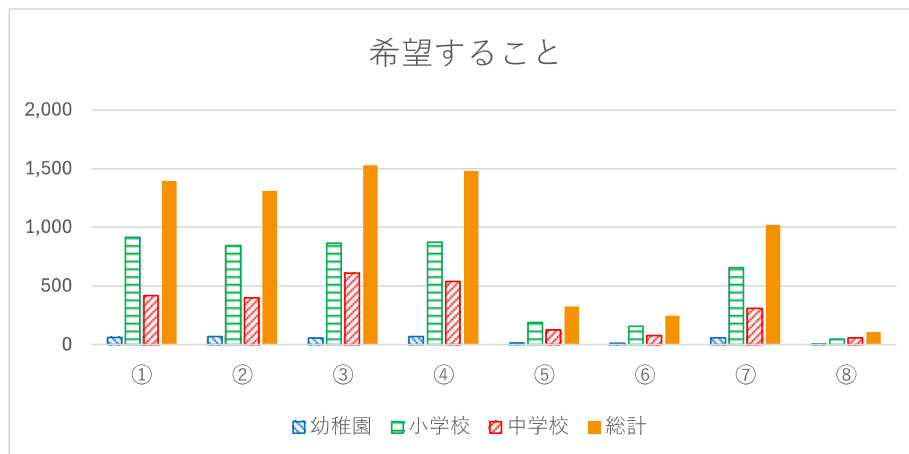


幼小中とも、「栄養バランス」が一番多く全体の半数を占めた。次いで「安全な食材」が多かった。
自由記述では、「ボリュームを多くしてほしい」「味つけ」や「あたたかいもの」などの意見があった。

給食の献立で最も優先してほしいことにおいても、先ほどの給食のよいところと同様、「栄養バランス」を重視する保護者が最も多いことがわかった。
保護者から子どもたちに栄養バランスの整った、安全な給食を食べてほしいという思いが感じられる回答となった。

【質問6】 学校給食の献立について希望はありますか。2つまで選んでください。

単位：人								
	デザートや果物の回数を増やしてほしい ①	季節の行事ごとの献立を増やしてほしい ②	人気のあるおかずを増やしてほしい ③	栄養のバランスを考えた献立にしてほしい ④	パンの種類を増やしてほしい ⑤	世界の料理を増やしてほしい ⑥	今のままでよい ⑦	その他 ⑧
幼稚園	6017.7%	6820.1%	5616.5%	7020.6%	133.8%	123.5%	5817.1%	20.6%
小学校	91620.2%	84418.6%	86319.0%	87119.2%	1904.2%	1563.4%	65514.4%	461.0%
中学校	41916.5%	39715.7%	60924.0%	53821.2%	1244.9%	783.1%	31012.2%	582.3%
総計	1,395	1,309	1,528	1,479	327	246	1,023	106



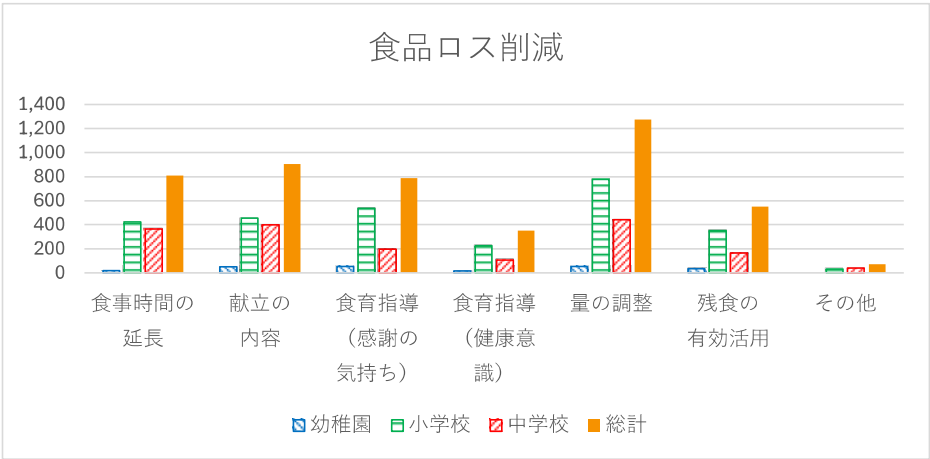
この設問においては、「デザートや果物の回数を増やしてほしい」「季節の行事ごとの献立を増やしてほしい」「人気のあるおかずを増やしてほしい」「栄養のバランスを考えた献立にしてほしい」の4つの回答が概ね拮抗する結果となった。

現状に大きな不満はないものの、今後の給食については、様々なことを希望する保護者が多く、特に栄養バランスが整っていたり、子どもの喜ぶ献立にしてほしいと思う保護者が多いことがわかった。

「育ち盛りの年代の男子には少ない」「おかずの種類や量を増やしてほしい」「牛乳は必要なのか」「地元のものなど新鮮なものを取り入れてほしい」などの意見もあった。

【質問7】学校給食で食品ロス（残食）を減らす方法としてどのようなことが考えられますか。1つ選んでください。

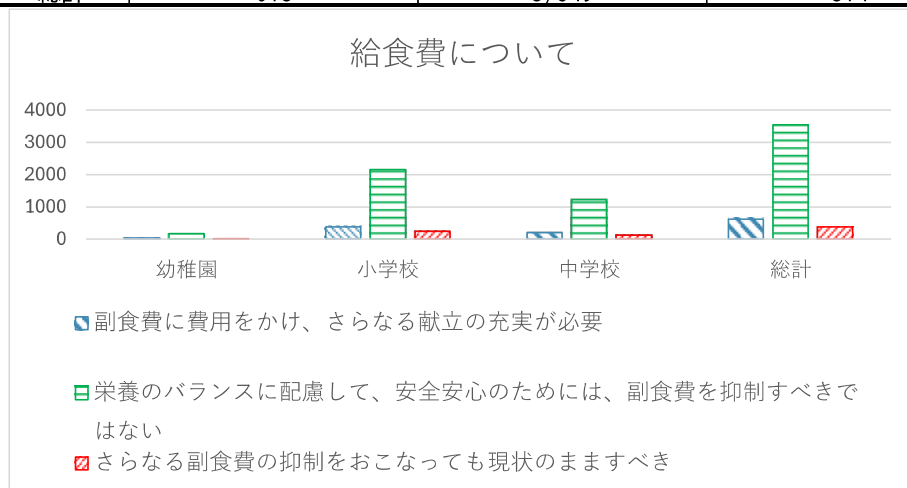
	食事時間の 延長	献立の 内容	食育指導 （感謝の 気持ち）	食育指導 （健康意 識）	量の調整	残食の 有効活用	その他
幼稚園	20 8.6%	51 22.0%	55 23.7%	16 6.9%	55 23.7%	35 15.1%	0 0.0%
小学校	423 15.1%	454 16.2%	535 19.1%	227 8.1%	775 27.7%	353 12.6%	33 1.2%
中学校	365 21.3%	398 23.2%	197 11.5%	108 6.3%	443 25.8%	164 9.6%	40 2.3%
総計	808	903	787	351	1,273	552	73



食品ロスについては、個人の食べる量に合わせて量を調節し、食べ残しを減らすことが効果的と回答する保護者が幼小中ともに多い傾向にあった。また、次いで「食事時間の延長」「献立の内容」「食育指導（感謝の気持ち）」が多い傾向にあり、特に「食事時間の延長」は、小中学校の保護者に回答が多く、食べられるのに時間がなく食べきれないという意見もあった。

【質問8】給食食材の多くが高騰しています食材費は令和2年に比べて2割程度高くなっています。この現状を踏まえ給食費についてのお考えをお聞きます。

						単位：人
	副食費に費用をかけ、さらなる献立の充実が必要		栄養のバランスに配慮して、安全安心のためには、副食費を抑制すべきではない		さらなる副食費の抑制をおこなっても現状のまますべき	
幼稚園	28	13.5%	168	80.8%	12	5.8%
小学校	379	13.7%	2,158	77.8%	235	8.5%
中学校	206	13.2%	1,223	78.6%	127	8.2%
総計	613		3,549		374	



「給食費の値上げを実施すべき」「栄養のバランスに配慮して、安全安心のためには、副食費を抑制すべきではない」を合わせると91.8%となった。自由記述の中でも、「費用を抑えながら、あれもこれもと取り入れて献立を考えるのは、ものすごく大変なことかと思います」「負担を増やしても、子ども達の成長期、栄養バランスのとれた、適切な量の給食が食べられることを希望しております」「物価高騰は重々承知ですので、給食費を上げてでも子どもたちの満足のいく給食にして欲しい」「給食費の無償化を実施して欲しい」などの意見が多数あった。

ただし、「家庭収入が増えていないのに、給食費だけが値上げするのは家計が厳しい」「値上げ分は市が補填してほしい」という値上げに慎重な意見もあった。

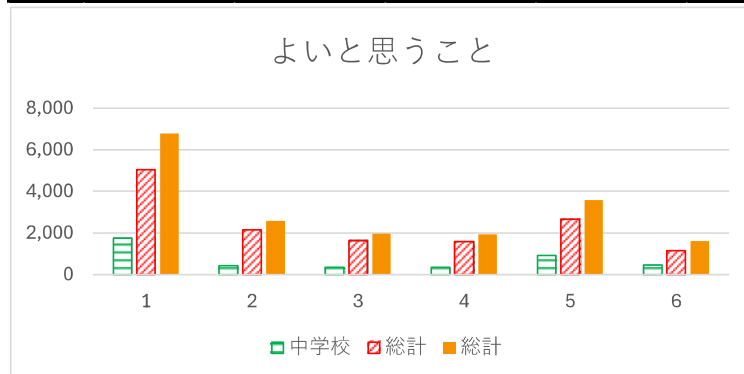
【質問9】給食についてご意見のある方はご記入下さい。

- ・美味しく、楽しく給食をいただいているようですが、全体的に量が少ないようです。
- ・アレルギーが多く、家ではいつも同じものばかりになりがちなので給食は本当にありがたいです。
- ・家の味ではない食材や味付けに少し戸惑う時もあるようで、不満を聞く時もあります。作っていただいた方への感謝の気持ちを持つこと、食材を粗末にしないよう、量を調整しながら毎日いただいています。
- ・量が少ない為物足りなさを感じている。と子どもから聞いています
- ・家では食べない食材も給食では食べたりしているので、給食で色々な食材をたべたり、バランスのとれた給食はとても貴重に思っています。給食費の値上がりは仕方ないとは思いつつも、家計も苦しいのが現状。
- ・色々な料理に触れられて、子どもも家で新しいメニューでも食べてくれるようになったのでありがたいです。
- ・給食のレシピをもっと知りたい。
- ・あまりに量が少なく親世代の頃とくらべてかなり質や量が落ちていると思います。
- ・揚げパンがおいしい。
- ・いつも今日の給食〇〇やったー、美味しかったなど、親子の会話のひとつとなっています。
- ・季節のイベント的なメニューがあると嬉しいです
- ・品数、量が少ないことが多い。
- ・家では出しても絶対に食べない嫌いなものでも、今日給食で少しやけど食べれたよ！と言ってくれたりします。

アンケートの結果（児童生徒用）

【質問1】給食についてよいと思うこと、直してほしいことは何ですか？
（よいこと）

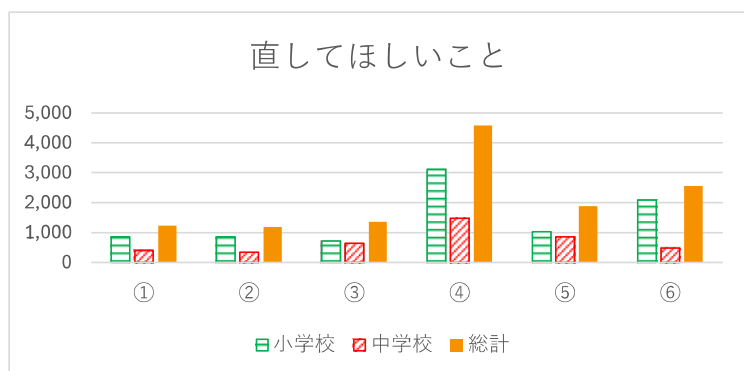
	単位：人											
	毎日ちがう ものが 食べられる ①		みんなと 同じものが 食べられる ②		好きなものが 食べられる ③		すぎきらいを なくす 「きっかけ」 になる ④		家で食べない ものが食べられる ⑤		特になし ⑥	
小学校	3,301	33.1%	1,714	17.2%	1,263	12.7%	1,245	12.5%	1,746	17.5%	703	7.1%
中学校	1,739	41.0%	433	10.2%	355	8.4%	343	8.1%	914	21.6%	454	10.7%
総計	5,040		2,147		1,618		1,588		2,660		1,157	



「毎日ちがうものが食べられる」が圧倒的に多く、小学校で33.1%中学校41.0%だった。次に「家で食べないものが食べられる」が多かった。毎日異なる献立を楽しみにしてくれている児童生徒も多く、今後も家庭では取り入れにくいものも積極的に出し、子どもたちの食経験を深めるきっかけとしたい。

【質問1】給食についてよいと思うこと、直してほしいことは何ですか？
（なおしてほしいこと）

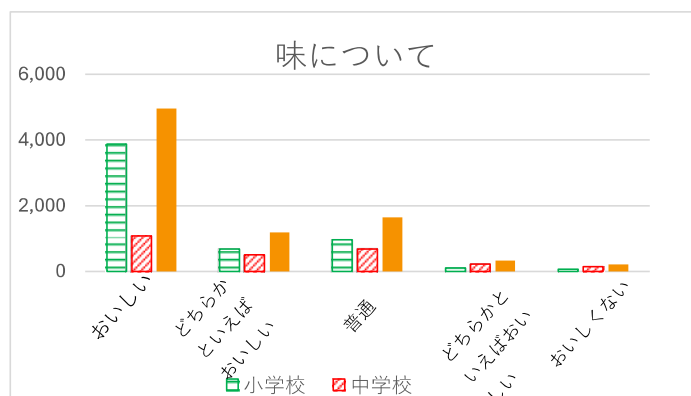
	単位：人											
	量が足りない ①		量が多い ②		食べたいメニューがない ③		果物やデザートが少ない ④		食べる時間が足りない ⑤		特になし ⑥	
小学校	845	9.8%	849	9.8%	718	8.3%	3,104	36.0%	1,028	11.9%	2,084	24.2%
中学校	387	9.3%	337	8.1%	642	15.4%	1,469	35.3%	855	20.5%	474	11.4%
総計	1,232		1,186		1,360		4,573		1,883		2,558	



「果物やデザートが少ない」が多く小学校では、36.0%、中学校では35.3%だった。自由記述でも、果物やデザートに関しての記述が多く、保護者アンケートの給食について改善してほしいことの中でもあった、果物やデザートが出ることによる給食への楽しみを希望する児童生徒が多くいることが改めてわかった。

【質問2】給食の味についてどのように感じていますか？

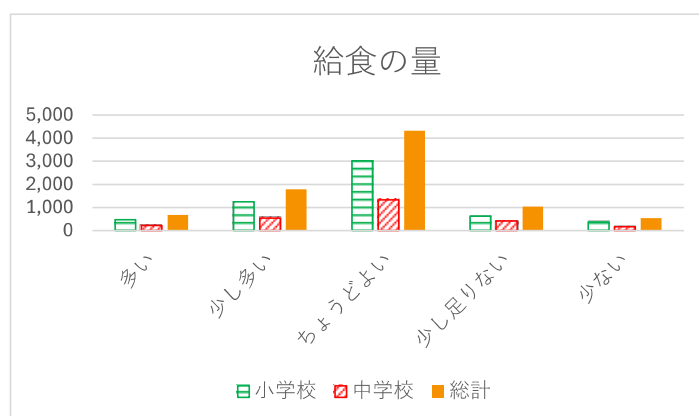
	単位：人									
	おいしい		どちらかといえばおいしい		普通		どちらかといえば		おいしくない	
小学校	3,872	68.0%	678	11.9%	964	16.9%	107	1.9%	72	1.3%
中学校	1,087	41.2%	506	19.2%	683	25.9%	222	8.4%	143	5.4%
総計	4,959		1,184		1,647		329		215	



「おいしい」「どちらかといえばおいしい」と答えた小学校児童は79.9%、中学校生徒は、60.3%であった。おいしいと感じている児童生徒数が概ね多数であることが分かった。

【質問3】給食の量についてどのように感じていますか？

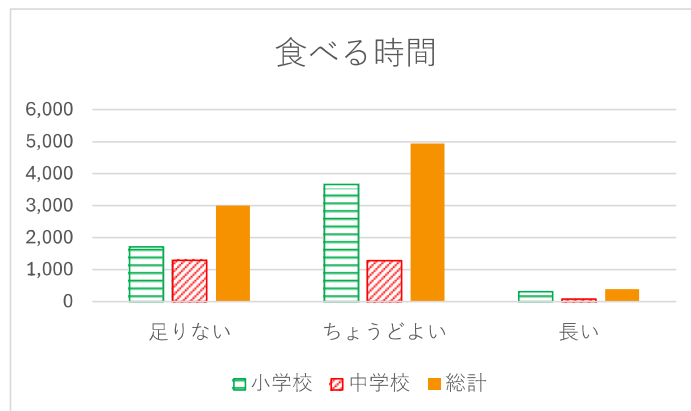
	単位：人									
	多い		少し多い		ちょうどよい		少し足りない		少ない	
小学校	459	8.1%	1,233	21.7%	3,008	52.8%	624	11.0%	369	6.5%
中学校	210	8.0%	542	20.5%	1,317	49.9%	409	15.5%	163	6.2%
総計	669		1,775		4,325		1,033		532	



給食の量について「ちょうどよい」は、小学校52.8%、中学校49.9%だった。質問2の直してほしいところで、量が多い、または足りないと回答した児童生徒が一定数いたが、量に特化した質問においては、半数がちょうどよいと回答している。自由記述欄にも多い少ないの意見はあり、食べる量に個人差が出てくる年齢ではあるが、概ね平均的な量が提供されていることがわかった。

【質問4】 給食の食べる時間はどうですか？

	単位：人					
	足りない		ちょうどよい		長い	
小学校	1,712	30.1%	3,666	64.4%	315	5.5%
中学校	1,289	48.8%	1,278	48.4%	74	2.8%
総計	3,001		4,944		389	



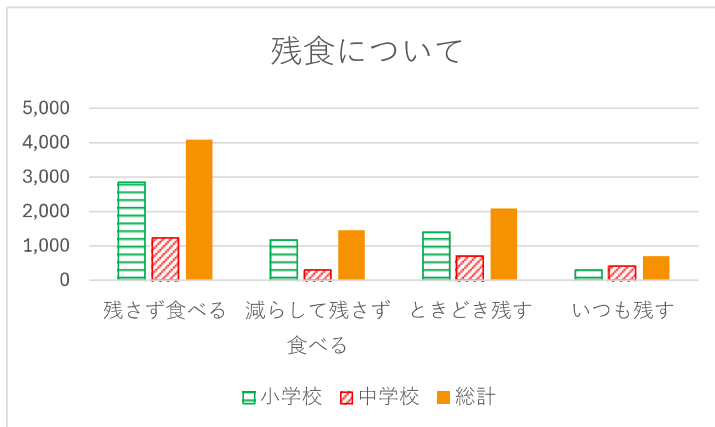
小学校については、「ちょうどよい」と回答する児童が6割を超えており、足りないと感じる児童は一定数いるものの、食べる速度にも個人差があるため、概ね評価されていると受け止めている。中学校については、「ちょうどよい」「足りない」と回答する生徒がほぼ同数であった。自由記述欄にも給食時間が足りないという意見が多くあり、保護者アンケートの食品ロスの項目でも給食時間が課題と感じている保護者が一定程度いたことを含め、給食時間が様々な面で課題となってきたことがわかった。

【質問5】 給食は残さず食べていますか？

	単位：人							
	残さず食べる		減らして残さず食べる		ときどき残す		いつも残す	
小学校	2,848	50.0%	1,160	20.4%	1,386	24.3%	299	5.3%
中学校	1,239	46.9%	295	11.2%	701	26.5%	406	15.4%
総計	4,087		1,455		2,087		705	

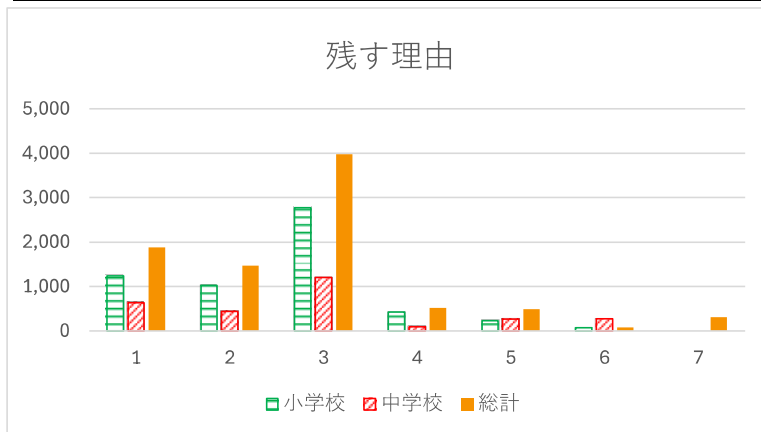
【質問6】質問5で3「ときどき残す」または4「いつも残す」と回答された方に聞きます。どのようなものを残しますか？あてはまるものすべて答えてください。

	ごはん	パン	牛乳	肉料理	魚料理	野菜	豆料理	きのこ	海そう	デザート	その他
小学校	128	138	222	53	242	441	120	173	44	39	85
中学校	201	96	103	12	129	342	28	125	20	2	49
総計	329	234	325	65	371	783	148	298	64	41	134



【質問7】質問5で2.「減らして残さず食べる」3「ときどき残す」または4「いつも残す」と答えた人に聞きます。その理由を2つまで選んでください。

	量が多いから ①	味付けが うすいから ②	味付けが こいから ③	苦手なものが 出るから ④	食べる時間が 短いから ⑤	太りたく ないから ⑥	その他 ⑦
小学校	1,041 25.3%	208 5.1%	151 3.7%	1,934 47.0%	579 14.1%	200 4.9%	0 0.0%
中学校	470 21.5%	169 7.7%	69 3.1%	1,010 46.1%	398 18.2%	75 3.4%	0 0.0%
総計	1,511	377	220	2,944	977	275	0

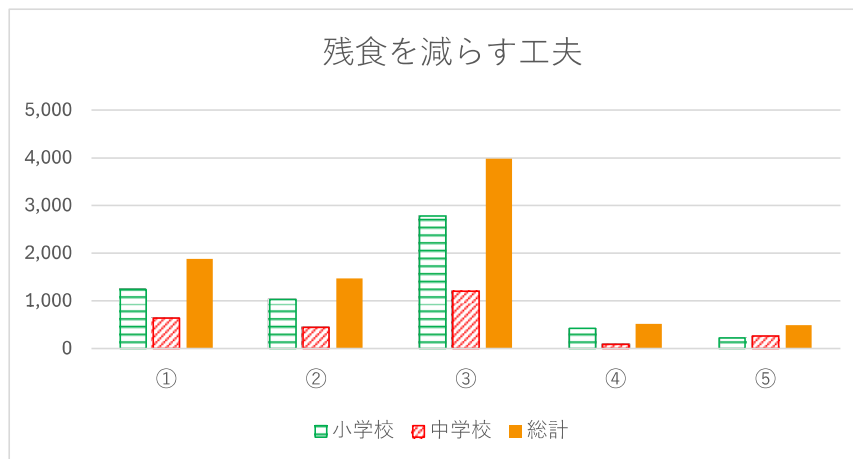


「残さず食べる」「減らして残さず食べる」をあわせて小学校70.4%、中学校58.1%と小中とも半数以上残さず食べている。反対に、「いつも残す」は、小学校5%、中学校15%だった。

「ときどき残す」「いつも残す」と回答した児童生徒が残すものとしては、小中ともに野菜が多く、小学生は「魚料理」「牛乳」と続き、中学校は「ごはん」が多い結果となった。その後の残す理由では、「苦手なものがでるから」が最も多い結果となり、野菜や魚、牛乳などを苦手とする児童生徒が多くいることがわかった。給食では、児童生徒が苦手なものも提供しており、残食は多い傾向にあるかもしれないが、食べる機会を増やすことで、少しずつ食べられるものが増えることもあるため、今後も献立の中で楽しみも作りつつ、食経験を積めるよう食育の生きた教材となる献立の作成に努めたい。自由記述では、「おなかいっぱいになったとき」や「食べきれなかったとき」などの回答もあった。

【質問8】どのようにしたら給食が残るのを減らせると思いますか？1つ選んでください。

	単位：人				
	学校やクラスで 残さず食べる 雰囲気づくり をする	運動など 体を動かす	苦手な食べ物を 食べられるように する	前日の夕ごはん や当日の朝ごは んが給食と同じ メニューになら ないように家族 と話す	その他
	①	②	③	④	⑤
小学校	1,238 21.7%	1,027 18.0%	2,777 48.8%	424 7.4%	227 4.0%
中学校	639 24.2%	442 16.7%	1,202 45.5%	93 3.5%	265 10.0%
総計	1,877	1,469	3,979	517	492



小学校、中学校とも「苦手な食べ物を食べられるようにする」が一番多かった。どのようにしたら残食を減らせるかについては、「苦手な食べ物を食べられるようにする」と回答した児童生徒が最も多かった。先ほどの質問で、残す理由は苦手なものが出るからが最も多い回答であったが、残食を減らすためには、苦手なものを食べられるようにすると回答しているところから、苦手なものを食べるよう努力することで一定の残食を減らすことができるということを児童生徒が理解していることがわかった。自由記述では、「時間をのばす」や「おいしくする」「量を減らす」などの意見も多くあり、残食の発生には様々な要因が関係していることも課題となっている。

【質問9】給食について思っていることがあれば書いてください。

- ・デザートやフルーツを増やして欲しい。
- ・とてもヘルシーで良いと思いました。
- ・肉を増やして欲しい
- ・苦手なものを食べられるようになりたい。
- ・家では食べられないような物が出るのはいいところだけど、量が多いからたまに残してしまう。
- ・麺類を増やしてほしい
- ・もう少し量を増やして欲しいです。味はすごく美味しいです。
- ・健康になる給食をいつも作ってくれて、本当にありがとうございました。
- ・サラダすっぱい。健康を考えてくれているんだろうけど残してしまう
- ・とにかく食べる時間を増やしてほしい。時間があつたら自分が嫌いなものがあつたとしても残さずに食べます。

総 括

アンケートの結果から、保護者、児童生徒の大半は学校給食に対して満足度が高く、肯定的な良い印象を持っているということがわかった。これは学校給食に関わるものとして喜びを感じると同時に、より一層、安全でおいしい給食の提供に意識を新たにするものであった。

一方で、不満と感じていると回答する保護者、児童生徒の意見もあり、学校給食の献立に苦手なものが出ることが残食につながるという回答が多く、特に野菜や魚などを苦手としていることも読み取れた。それらの食材は、成長期に必要な栄養素が豊富に含まれており積極的に取り入れたい食材であるため、調理方法等を研究していく必要があると考える。

給食日誌や献立委員会で日々の給食時間の様子を聞き取り、残食を少なくするなど食品ロス削減につながる充実した献立の立案に努めていく。

また、給食時間については、給食時間が足りないという回答する保護者や児童生徒が多かったが、学校の日課における給食時間の拡大は容易ではなく、喫食時間の確保は課題であるといえる。

献立については、果物やデザートの回数を増やすなど、給食に楽しみにする保護者や児童生徒が多いことがわかった。学校給食は、「食育」の生きた教材であり、児童生徒にとって、最も身近な食の教材である。そのため、日常ではなじみの薄い食材や料理も経験できる機会として提供する意義は大きいと考える。給食を楽しみにしている児童生徒が多いことも踏まえ、給食の質を確保しつつ、充実した給食時間となるよう努めていく。

また、栄養バランスや安全安心を確保するためには、副食費を安易に抑制すべきではないと感じている保護者が多いことがわかった。今後は、給食費と献立の両面から、児童生徒にとってより良い学校給食の実現を目指していく。

おわりに

今回のアンケートは、タブレット端末を利用して配信で行いました。各校の先生方や、保護者の皆さま、児童生徒の皆さまに大変お世話になりました。タブレット端末を利用したことで、幼小中全保護者、児童、生徒と広くたくさんの意見をいただきました。肯定的なご意見に励まされうれしい気持ちになり、厳しいご意見も真摯に受け止め、ますます安全安心でおいしい給食が提供できますよう努力していきたく思います。皆さま、ご協力ありがとうございました。